

# 平成31年度予算に対する 各会派の意見表明・討論

平成31年度一般会計ほか、4特別会計予算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、予算特別委員会（委員長 藤井たかし、副委員長 やくし辰哉）を設置し、14日間にわたり慎重かつ厳正な審査を行いました。

各会派から出された意見表明・討論の要旨は、次のとおりです。

## 区政改革を推進し、区民サービスの充実を！

練馬区議会自由民主党（16人）

平成31年度予算は「第2次みどりの風吹くまちビジョン」のリーディングプロジェクトの着実な実施を最優先に編成され、一般会計当初予算額は2千73億円で、対前年度比で76億円増加した。うち70億円は教育・子育て関連施策の増である。また、都市整備・土木や福祉、喫緊の課題と将来を見越した対応がソフト、ハード両面においてバランスよく編成され、区のサービス全体を着実に底上げしていることを評価する。「元気高齢者応援プロジェクトの開始」「（仮称）練馬こどもcaféの創設」「いじめ等対応アプリの開発」「密集事業の新規地区の事業化」「稲荷山公園・大泉井頭公園の拡張整備」「窓口改革」等の新規事業や特に、わが会派の強い要望を

受け「区立小中学校体育館の空調機設置の前倒し」を決断いただいたことを高く評価する。区政改革計画に基づき費用対効果を検証し「受益と負担のバランス」「委託・民営化の推進」「新たな財源確保」等さまざまな視点から不断の見直しを行い、区民サービスの充実と持続可能性の確保の実現に向け、改革をさらに進められることを強く要望する。  
【都区財調・財政計画・公債費】①社会構造や区民ニーズの変化に合わせ徹底した事務事業の見直しを。②区内経済の活性化を。③未利用区有地のさらなる有効利用を。④ふるさと納税による減収対策を。⑤区政改革の観点からさらなる区立施設の民営化を。【議会費・総務費】①女性目線の防災対策、浸水ハザードマップ

の高精度化を。②議会HP会議録検索システムのさらなる利便性と起案等の電子決裁率の向上を。③わが会派が提案したソーラーモバイルバッテリーの配布事業を評価する。有効活用を。④防災学習センターはVR技術等を活用したリニユアルを。⑤委託・民営化、指定管理者制度を活用した行政改革を。⑥旧光が丘第七小跡地には、看護学校や介護士、理学療法士、作業療法士等を育成する学校の誘致を。⑦「三輪電動自転車トライク」の配備を。【区民費・地域文化費・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療会計】①練馬Enカレッジのさらなる充実を。②町会・自治会の公設掲示板揭示委託料の拡充を。③「こどもアートアドベンチャー」事業の拡充を。④都が買取予定の「としまえん（練馬城址公園）」をアリーナ等の総合体育館を整備した防災公園に。⑤各運動公園に夜間照明設置を。⑥国保運営方針に基づき国保事務の標準化や効率化を進め法定外繰入金削減を。⑦健康づくりや重症化予防に努め国保会計の安定化を。【産業経済費・環境費】①「こどもの森」を拡充しツリークライミングができる「冒険の森」設置を。②事業承継に関する行政相談窓口設置を。③消費税引き上げ後の区内経済活性化対策を。④空き施設、空き店舗にインキュベーション施設の推進を。

2019年度一般会計、国民健康保険事業会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計の4予算に反対する。  
反対理由の第一は生活保護費の引き下げを容認するなど国の言いなりの予算であること。第二は保育園や学童クラブ待機児童など根本対策が図られておらず、区民の願いに添えていないこと。第三は石神井公園駅前再開発など、不要不急の事業推進に多額の予算を割こうとしていること。  
区民の困難に寄り添う予算にすべきと求め以下要望する。  
①消費税増税の中止を国に求めよ。②性的マイノリティーの特設相談窓口を周知し、同性カップルの認証制度を創設

⑤四季の香ローズガーデンを特徴ある公園に。みどりを育むムーブメント広げ観光スポットとなる公園等を。⑥総力を挙げ世界都市農業サミットの成功を。⑦商店街等のイベント補助金は中止の場合も支給を。⑧資源・ごみ分別アプリは区民が活用したくなる工夫を。【保健福祉費・介護保険会計】①区西北部の病床ベッド数の確保と財源確保に向けてさらなる努力を。②風疹や麻疹等感染症に対する注意喚起と予防接種事業の周知徹底を。③区民のために東庁舎の医療施設の充実を。④農福連携で障害者の受け入れを。⑤右肩上がりの医療費削減のため、さまざまな病気の早期発見・治療等、予防対策を。⑥ペット防災の観点からマイクロチップの普及啓発事業支援を。⑦生活保護費の適正化強化と就労支援プログラムの徹底を。【都市整備費・土木費・公共駐車場会計】①西武新宿線立体化事業促進と機運醸成を。②（仮称）上石神井三丁目公園の整備は区民協働で。③わが会派が強く要望した防犯カメラ設置を高く評価する。さらなる拡充に努力を。④放射35号線の沿線地区開発を。⑤環状8号線を横断する地下通路の着手を。⑥大江戸線延伸に向けた機運醸成を。⑦大泉街道の早期整備を。⑧石神井公園周辺の整備を。⑨区内の生活幹線道路の無電柱化促進を。⑩「田柄川緑道」の再整備計画を。⑪災害時の危険性の積極的周知とその低減を。⑫各地区の「防災まちづくり」のさらなる推進を。⑬南大泉自転車駐車場のスペース拡充を。【教育費】①「いじめ等対応アプリ」導入による最大の効果を。②全区立

小中学校の子どもたちにタブレット配布を。③私立幼稚園と保育園の補助の公平性を。【こども家庭費】①「練馬方式森のようちえん」の恒久的事業化を。②虐待防止対策事業の強化、いじめ等対応アプリの導入等、尊い命を守る。区東北部への開設促進を。

## 住みやすさNo.1の練馬へ！

練馬区議会公明党（12人）

平成31年度練馬区一般会計予算と4特別会計予算ならびに31年度練馬区一般会計補正予算に賛成する。今予算は福祉や子どもに関する経費は全体の約68%を占め子育て、教育、福祉の向上を最優先に編成された結果である。わが会派がかねてから要望していた施策が盛り込まれ評価する。  
【都区財調・財政計画・公債費】①国にふるさと納税制度の見直しを。②持続可能な財政運営確保を。③森林環境譲与税を「みどりを育む」財源に。④財政の安定運営に起債の適正管理を。【議会費・総務費】①自動通話録音機貸出し対象に日中独居高齢者を。②区役所電話保留音を「わが街・練馬」に。③窓口職員に質問に対応するFAQ活用を。④災害協定の定期的更新を。⑤新起震車は児童生徒から名前募集を。⑥災害時のマイクイムラインの周知を。⑦災害時に液体ミルク活用を。⑧地域別防災マップの作成と訓練を。【区民費・地域文化費・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療費】①日本語講座と外国語講座の充実を。②「待たない」窓口のために混雑予測提供を。③「何度も書かない」窓口のための申請書一括作成支援システム構築を。

よう最善の対策を。③「産後ケア」に協力する産科医療機関の開拓を。④さらなる子育てスタート応援券拡充の検討を。⑤学童クラブの予算拡充を。⑥子ども家庭支援センターの要である「びよびよ」の区東北部への開設促進を。  
④長寿すこやか歯科検診の周知を。⑤総合体育館の老朽化対策を。⑥終末期医療ケアにアドバンスケアプランニング（人生会議）の普及啓発を。⑦美術館におしゃれなレストランの併設を。【産業経済費・環境費】①資源ごみ分別アプリの利用促進と外国人登録民有地や道路の側道に花いっぱい運動を。⑤商店街活性化にプレミアム付き商品券発行を。⑥季節湯に親子や近隣の触れ合いの取り組みを。⑦区民農園・市民農園の一体化を。⑧練馬区の農業施策を観光資源に。⑨小中学校等にミストシャワー設置を。⑩プラスチックごみ海洋汚染対策を。【保健福祉費・介護保険会計】①区立施設型の街かどケアカフェ増設を。②犬のふん対策にイエローチョーク作戦を。③障がい者就労促進等のフォローアップ・相談体制充実を。④市民農園や体験農園活用で農福連携のモデルを。⑤多子世帯の子どものインフルエンザ予防接種一部助成を。⑥ひとり親家庭と養育費保証契約を締結する事業の導入を。⑦移動販売車と出張型街かどケアカフェの拡充を。⑧特定不妊治療助成の所得上限を90万円に。⑨母子手帳の電子化を。【都市整備費・土木費・公共駐車場会計】①エレベーターの光が丘駅設置の周知と小竹向原駅の整備を。②自転車シミュレーターを設置場所の周知を。③区民交通傷害保険の募集期間の延長を。④住まい確保支援事業の推進と家財整理費用補償制度の活用を。⑤街路灯のLED化を早期に。⑥公園の防犯カメラ増設を。⑦大泉学園駅や石神井公園駅へホームドア設置を。⑧みどりバス保谷ルート再編を。大泉ルートの増便と最終バスの延長を。⑨区営・都営住宅等入居時に火災保険加入周知を。⑩西武新宿線の側道部分にかかる方へ連続立体化の周知を。【教育費】①特別支援教室巡回指導教員の増員を。②スクールソーシャルワーカーを校内委員会に位置付けを。③熱

## 消費税増税に反対し、区民に寄り添う区政へ

日本共産党練馬区議団（6人）

中症指標計の運用マニュアル策定を。④東京2020大会に小中学生の直接観戦を。⑤通学路防犯カメラの増設を。⑥小学校入学準備費は入学前に。⑦置き勉の保管場所の取り組みと教科書の電子化を。⑧幼児教育・保育無償化では園児保護者負担軽減費の有効活用を。【こども家庭費】①幼児教育・保育無償化のコールセンター開設を。②ねりっこクラブの早期配置で学童クラブの待機児童解消を。③児童相談所への派遣職員のスکیل高め区の体制強化を。④（仮称）練馬こどもcaféは小規模店でも実施を。⑤3歳児対策に4・5歳児の空きの有効活用を。⑥春日町児童館移転改築時に学習室とWiFi整備を。⑦子育てスタート応援券の乳幼児一時預かり事業を3歳未満まで延長を。



予算特別委員会

改革ねりまの前進を後押し  
練馬区議会国民民主党・無所属クラブ(4人)

区民協働を基軸とした行政改革のさらなる前進に期待を込め賛成。【都区財調・財政計画・公債費】①施設整備基金の目標額検証を。②大江戸線延伸推進基金の目標額積み増しを。【総務費】①インターネット寄付者の了解を得て

のエレベーターを設置せよ。⑮教員の業務削減に取り組み、タイムカードを早急に導入せよ。⑯小中学校の教員を大幅増員せよ。⑰小竹小、旭丘小・中など、学校統廃合ありきの対応方針はやめよ。⑱学校給食を無償化せよ。⑲区立図書館の「直営3館体制」を維持せよ。⑳保育士等キャリアア

困っている人の声を聞き取る区政を  
生活者ネットワーク(3人)

工を。②ビニールハウス張り替え等は区内業者で。③区東側の野菜販売所拡充と流通の仕組み検討を。④商店街振興の補助金の効果検証を。【保健福祉費・介護保険費】①障害児専門保育園の課題整理と運営支援を。②地域包括支援センターの周知強化を。【都市整備費・土木費】①維持管理コストを考えた公園管理の徹底を。②シェアサイクル

経費削減目的の委託民営化により不安定雇用が増加。差別や貧困に苦しむ区民の声を聞かない予算に反対。①液体ミルクの備蓄物資としての導入は専門家を慎重に検討を。②性の多様性を認める条例を制定しパートナーシップ制度導入を。③子宮頸がんワクチンの副反応被害者を支援せよ。④洗剤や柔軟剤等の強い香りのもととなる化学物質による健康被害は環境、健康、教育部門が連携せよ。⑤給食白衣等の「香りの害」は子どもに不利益が生じないように対

市民の声に耳傾け、新「ビジョン」見直しを  
市民の声ねりま(3人)

みどり施策の大転換等、新「ビジョン」には多くの問題が。①新宿線沿線へ福祉事務所等の設置を。②多文化共生の専門組織設置を。③外国人意識意向調査実施を。④みどりの量の目標設定を。⑤プラスチックごみ削減を。⑥柔軟な働き方へ支援を。⑦ひとり親が働きやすい環境を。⑧精神障害者への福祉手当は2級にも

ル事業の早期検証を。③プロック撤去に助成を。④西武線高架下有効活用を。【教育費】①支援の必要な子どもたちが私立幼稚園に通える環境を。②2階建て体育館の空調機設置は学校施設管理実施計画に合わせ、無駄のない工事となるよう徹底を。【子ども家庭費】①子どもたちに最適な新たな児童相談体制確立を。②保育所検索のシステム化を。

子ども達の育つ環境整備と多様な医療充実を  
練馬区議会立憲ねりま(2人)

社会的に人材不足が起きており、特に区の進める委託・民営化の施策には不安。①委託・民営化を再検討し、区民サービスの低下を回避すべく、新たな支援体制を。②避難拠点の防災倉庫に液体ミルクの備蓄を。福祉避難所の整備等、福祉の防災の強化を。③特別区民税における配偶者控除・特別控除の改定は、分かりやすい周知と動向の注視を。④

維新だからできる「身を切る改革」！  
練馬区議会維新の会(1人)

平成31年度予算および各特別会計予算に賛成する。「身を切る改革」を推進し、改革ねりまの第Ⅱ章が進むよう期待し、以下意見要望を申し上げます。①防災訓練は新しい人や外国人が参加しやすい工夫を。②保育園は待機児童ゼロに。③ふるさと納税の影響が大き

前川区政・財政も行政も改革なし  
オンブズマン練馬(1人)

平成31年度予算は例年通り都区財政調整交付金に依存し独自性がない。区債への依存も続き、過去に1千500億円近い多額の区債残高を抱えている状況があり不安である。当初からキャッチアップによ

生活に向き合う、人を大切にしたい区政を  
市民ふくしフォーラム(1人)

問題等重要案件に具体的施策が見られない。口先だけの政策・ビジョンでは区民の信頼が得られず、行政の責任は果たせない。区民が区政に期待できる予算を作成すべきだ。

平成31年度予算に対する各会派の態度

Table with columns for Party Name (会派名), Party (会), and Decision (結果). Rows include General (一般), National Health Insurance (国民健康保険事業), Nursing Insurance (介護保険), Late Elderly Medical Care (後期高齢者医療), Public Parking (公共駐車場), and General (General Correction) (一般(補正)).